

第7回  
秋の里まつり



# 里だより

No.383

令和5年12月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



阿蘇ミルク  
牧場



## いきいきグループ外出



十二月号もくじ



施設長より……………1

相談より……………3

主任より……………4

職員より・医務より・  
サービス向上委員会より……………5

行事報告……………6

行事予定・

ありがとうございました・

編集後記……………8



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



## 施設長より

### 超高齢社会と人材



十一月半ばに、阿蘇の冠雪のニュースが入ってきました。映像で見聞きすると、余計に寒さが増すように感じます。利用者さんのお召し物もモコモコの冬物を目にするようになりました。

さて、十月二十六日に秋の里まつりを開催いたしました。巷では季節外れのインフルエンザが流行していたため、参加者をご家族までと制限させていただきました。保護者会からのご協力を始め、協賛いただいた企業様は二十三にもなりました。利用者さんのためにお心遣いいただき、誠にありがとうございます。いましました。企業様の中には、こちら側からお願いをする前に「もうそろそろ、お祭りの時期ですね」とお声をかけいただくところもあり嬉しい限りです。

十一月は面談月のため、多くのご家族の方に足を運んでいただきました。併せてお礼申し上げます。イベントは去ることながら、ご家族と会って喜ばれる利用者さんの笑顔は格別です。私の好物の一つかもしれません。利用者さんがご家族の来園を話される時の嬉しそうなこと。ご両親に限らず、兄弟姉妹甥姪等々に至るまでです。不在にしたり、別用できちんとご挨拶できなかつたご家族の皆様には申し訳ありませんでした。また「あなたに会えんだったけん。次はいっ来られるかわからんけん」とわざわざお電話いただくこともあり大変恐縮です。ご家族と利用者さんの橋渡しができる機会を減らさないように、今後とも感染症対策を図っていきます。

コロナ禍に注目を浴びた言葉に「エッセンシャルワーカー」というものがあります。社会に必要な職業という意味ですが、医療・物流・公共機関はもとより、福祉も該当します。

我が国では高齢化社会を優に超える超高齢社会を十年以上前に迎え、三割近い人口が六十五歳となっております。人手不足は耳にタコができるぐらい聞いてきました。どこに手を出すかと考えた時には、海外か高齢者かという流れになるのは当然のことなのでしょう。私たちが若い頃によく聞いていた「年を取ったら年金暮らしでゆつくりと」は、定年を迎える時に、高給取りかそれなりの貯えがある。若しくは資金の運用が上手な人なのでしょう。人手不足から、採用をマッチングする業界にとって「転職」の言葉はマストなかもしれません。美味しい謳い文句のように良い方向へ転べば良いですが、必ずしもそうとは限らないこともあるようです。お金だけのことで言えば、転職先で経験を生かした前歴を換算してくれば良いですが、換算方法は企業によって違い、当然時給にも関わってきます。勤続年数が長ければ、昇給すると時給単価も上がるので、単純に勤続年数が長い人と転職を繰り返す人とは、生涯年収に大きく差が出るのは想像に難くない気がします。個人の考え方に因るものなので良し悪しはわかりませんが、美味しい話だけをぶら下げて人を転々とさせる社会は、いつか行き詰ってしまう感じがするのは私だけでしょうか。裏を返せば「たとえ失敗しても選んだのはあなたです」は表には出てこないし、良い話は自分から発信しても、悪い話はしないのが世の常だったりもします。

さて、エッセンシャルワーカーについて、超高齢社会では福

社業界は必須です。人手不足によるサービスの低下は、今後より一層深刻化するといわれています。

今受けられているサービスの時間や日数を受けられない状況になるかもしれません。親や家族が福祉サービスが必要とする時に、見てくれる人や場所がないこととなります。必然的に家族がエッセンシャルワーカーの代行をすることになるので、家族の生活にも大きな影響が出るのではないのでしょうか。超高齢社会では家庭内での老々介護が、高齢者雇用の高まりに合わせて福祉の仕事でも大きくなる可能性があります。

政府が力を入れていいる少子化対策が順調にいったとして、マンパワーとして機能するのは数十年先のことです。改善策の手がかりの一つとされるICT（情報通信技術）の導入・活用は勿論ですが、やはり福祉の仕事の大切なものは「人の手」に他なりません。福祉と仕事の意義や魅力を、色々な方に届けることも私たちの使命だと思いますが、福祉サービスを届ける側も健康であり続けることが超高齢社会を乗り切る手段のようです。

施設長 松永 一博

### 【おことわり】

近年のデジタル環境の充実、及び省資源化への配慮により、二〇二四年の年賀状より、年始のご挨拶を控えさせていただきます運びとなりました。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 施設 PR 委員会 今月の 1 枚！



クリスマスまでもう少し！！👶

楽しみ～(\*'▽')

ホームページはこちらから



Instagramはこちらから



ぜひチェックしてください♪

## 相談より

### 「転職フェアに参加して」

少し前の話ですが、九月中旬に熊本市内で開催された転職フェアに参加させてもらいました。新卒求人の学校回りの経験はありませんでしたが、一般企業と合同、しかも転職者のフェアは初めてでした。相談業務を始めてから色々な人と関わるようになったことで、最近はなかなか緊張することもなくなりましたが、転職ブームと言われるこのご時世、どんな人が来るのかと久々に楽しみとドキドキが合わさったような感覚になりました。

会場に入ると周りには有名企業ばかり。福祉関係はつくしの里だけ。何か間違った場所に迷い込んでしまったのではないかとこの雰囲気も感じました。それでもせっかくなのでブースをつくしの里カラーに装飾し、転職希望者を出迎えました。

開始二十分で一人目の方が立ち寄られました。やや強引な呼び込みもあったかもしれませんが…。それから程なくして、二人目、三人目の方が来られ、直接自分が説明する状況になりました。「何をアピールするか」「心を惹く魔法の言葉は…」なんて事前に考えていたことは真つ白になり、とにかく相手の状況を確認したいことを聴き取りながら、何となく終わってしまいました。二人目からは緊張もほぐれ、いつもの相談モードで話ができるようになりました。転職者：言い方は悪いのですが、一度は何らかの形で挫折を味わった方なのかと思います。私も同じ転職組で、一度は限界を感じて退職を経験しました。で



すが、つくしの里では二十年目を迎えています。あれやこれやと伝えるのではなく、正直に自分の経験を自分の言葉で伝えることにしました。

最終的には二十名弱の方がブースに来られました。目を改めて見学に来られた方も数名いらっしゃいました。残念ながら、遠方からお越しの方も多く、十一月末現在で採用に至った方はいませんでしたが、私自身にとっては、とても良い経験になりました。こういった場で話をする自分の力量、話の説得力など、まだまだ課題は多いと感じました。そして何よりも今の時代、人を見つけることがこれだけ大変なことだということを痛感すると共に、今いる職員を大事にしなければいけないと改めて思いました。その為にはつくしの里が常に風通しの良い、働きやすい職場であり続けたいと思えますし、やりがいのある仕事だということをもっと広く認知してもらう必要があると思えました。

自分は相談員で役場に行ったり、学校などの会議に顔を出したり、対外的なことも多くあります。私はずくしの里の存在を知ってもらおうということを考えていますので、以前から勤務中に外に行く時は必ず「つくしの里」の文字が入ったポロシャツなどを着ていくように心がけています。福祉関係者には少し名が通っているかもしれないかもしれませんが、一般的にはまだまだ知られていないと感じます。ここ数年でSNSの活用なども開始しましたが、地道な種蒔き作業を続けて、いつか大きく花開く時、働きたい人・利用したい人が集まってくるそんな日が来てほしいなと思います。

相談支援専門員 井上真次

## 主任より

### 継続する力、挑戦する心



今年も残すところ一ヶ月を切りました。年を重ねる毎に足早に月日は過ぎていく気がしている今日この頃です。

一年を振り返ると、世界情勢の悪化、災害、色々と暗いニュースもありましたが、明るく前向きにとらえると、スポーツの年だったと思います。WBC（ワールドベースボールクラシック）での日本優勝を皮切りに、ラグビー、バスケットボール等、世界で活躍する選手達に一喜一憂しました。また、先日の日本シリーズでは、阪神タイガースが三十八年ぶりに二回目の日本シリーズ優勝を勝ち取りました。長い球団の歴史の中で、二回だけの優勝。しかも三十八年ぶりと言う事もあり、最後の試合は手に汗握りました。

さて、私事ですが、長男・長女・次女が空手をしています。保育園の時から始めていますが、もともと通っている所は保育園の副園長が主催されている所で、勝つための空手と言うよりも、空手道を通して礼儀を学び、心身を鍛え、異なる年齢の人との関わり方を学ぶ場所としての意義が強く、試合に勝つための練習はあまり行っていませんでした。どちらかというと、保育園のお友達と一緒に楽しむ事がメインだったと思います。公式戦はコロナ禍もあって参加が少なかつた事もあるのですが、参加してもなかなか勝てませんでしたし、本人たちもあまり勝敗を気にしていませんでした。

しかし、空手は好きだったようで、楽しみながら本人たちのペースで何年間か続けていると「もっと上手になりたい」、「試合でも良い結果を残したい」と思う様になりました。上の二人が高学年になった時に、黒帯を取る為に他の道場にも通い始め、黒帯を取得すると、少しずつ試合にも勝てるようになりました。まだまだ試合慣れはしていませんが、どの様な形であれ、諦めず継続する事は力になるのだと実感しています。

私自身は四十歳になった年に、人生で一番苦手で、あまり好きではない事をしようと熊本城マラソンに挑戦しました。身体を動かすのは好きでしたが、長距離は苦手で練習していても何が楽しいのだろうと思っていました。実際に参加してみると、当日はとても楽しく、次の日に身体は動きませんでした。また走りたいたいと思うようになっていました。その後、雨天時での大会にも参加し、身体が寒さで動かなくなる経験もしましたが、走る事が苦手でも嫌でも無くなり、今年も熊本城マラソンに参加します。

仕事でも言える事ですが、自分が今まで取り組んだ事、取り組み続けている事は、どの様な事であれ自身の力となります。また、やってみたい事でも良いのですが、苦手とか、あまり好きではないとか、時間が無いとか、考え過ぎず一步を踏み出し挑戦してみると、意外と出来て楽しめて、新しい見方が出来るようになると思います。来年はどの様な年になるか分かりませんが、皆さんも新しい事に挑戦してみたいかがでしょうか。私も、今ある事を楽しんで継続し、どんどん新しい事にも挑戦していきたいと思えます。

主任支援員 山中真史

## 職員より



今年度で入職4年目ですが、4年目にして初めて5班の一泊旅行、ペタンク大会、ご家族の方を招いての秋の里まつりを経験しました。一泊旅行やペタンク大会では日々の活動では見られない利用者さんの表情を見る事ができ、里まつりではご家族の方とお話しする機会があって、とても有意義な行事で参加できて良かったと思いました。

私が入職した令和2年(度)は新型コロナウイルスが猛威を振るい始め、様々な場所でイベントの中止や行動制限が行われ、窮屈な生活を余儀なくされた年です。つくしの里の利用者さんも今まで通りの生活が送れず不安になったり、混乱したり様々だったと思います。今年に入り2類から5類に移行した事で制限が緩和され窮屈な生活から少し解放された気がします。制限されない生活はこんなにも楽なのか〜と常日頃実感しています。コロナ禍の苦しみや窮屈さを二度と味わいたくありません。気を抜きすぎず今後も感染症対策を続け、来年も利用者さんと一緒に行事に参加し思い出を作りたいと思います。

(支援員 田中)

## 医務より



2ヶ月に1回、熊本セントラル病院から担当の保健師が来園され、職員の保健指導・健康相談を行っています。昨年度からの試みで、保健指導の時間を少し割いてもらい健康講話をお願いしています。テーマは、季節に応じた話題(秋の野菜や紫外線)、生活習慣病に関する話題(喫煙や脳卒中)など様々です。お昼休みの15分くらいを利用した短い講話ですが、話題も豊富で興味深いものが多いです。この講話のねらいは、職員の健康意識の向上です。少しでも自分の身体・健康に目を向けてもらいたいと思い始めました。健康な身体があってこそその仕事。いつまでも健康で長く働き続けて欲しいと願っています。

最後になりましたが、今年度の利用者さんの健診と予防接種は無事終了しています。結果は揃い次第お伝えします。

(看護師 松村)

## サービス向上委員会より



### ■ 権利擁護【主任支援員 井上・支援員 松尾り・尾崎あ】

権利擁護委員会では、毎月職員向けに他事業所で発生した虐待事例の報告、利用者向けに生活環境改善の聴き取りなどを行ってきました。虐待事例については、職員の意識向上に繋がり、日頃の自分の支援の振り返りなどもできたのではないかと思います。生活環境の改善については、どぎゃん会(利用者自治会)での全体への聴き取り、個人での聴き取りを行ってきましたが、どうしてもこちらの意図と挙がってくる話が食い違う部分が多く、難しさを感じているところです。

下半期は上半期の反省点を生かし、どういう聴き方をすれば利用者さんに分かりやすいか、こちらの意図が伝わるか、意見を出しやすいかという部分にしっかりと着目し、取り組みを継続していきます。

# 行事報告

※10/21(土)～11/20(月)の実施分について報告いたします

## ★ 第7回 秋の里まつり【10月26日(木) つくしの里】

「身近な人と楽しむ秋まつり」をテーマに、久しぶりにご家族をお招きして開催しました。利用者さんの神輿入場を皮切りに、南阿蘇村の猿回し劇場による猿まわし、新入職員のダンス、サプライズゲストとしてくまモンが登場し、大いに盛り上がりました。

バザーはけやき工房のパンとツインスターのアイスクリームを出店。当日は天候にも恵まれ、利用者さんもご家族と楽しい一時を過ごされました。

近年、コロナ禍の影響もあり規模を縮小しての開催でしたが、利用者さんの要望を取り入れて企画・実施出来た事は大きな成果だと思います。担当者一同、以前の様に地域の皆さんをお呼びし「地域に開かれた」「地域に愛される」イベントが開催出来る事を切に願っております。  
(支援員 外山)

御厚志ありがとうございました

- ・ 石塚正司 様
- ・ 松田健 様
- ・ 木庭由香 様
- ・ 後藤美由紀様
- ・ 小川眞司 様
- ・ (株)小竹組 様
- ・ (株)日野環境様
- ・ 石坂グループ様
- ・ アルパテック様
- ・ (株)通宝 様
- ・ (株)風雅 様
- ・ 熊本銀行 様
- ・ JIC九州(株) 様
- ・ 福岡・坂田税理士法人坂田会計事務所 様
- ・ サントリービバレッジソリユーション様
- ・ リニエルサプライ 様
- ・ パソラボ熊本ラボ 様
- ・ 九州日立システムズ 様
- ・ K・タナカトレーディング 様
- ・ つくしの里保護者会 様
- ・ 古閑靖浩 様
- ・ 竹山眞事 様
- ・ 府内美幸 様
- ・ 大塚武年 様
- ・ 松永一博 様
- ・ 三協化研 様
- ・ (株)大和電業様
- ・ エコアガス様
- ・ 千石屋石油様
- ・ 長野齒科 様
- ・ イオン大津店 様
- ・ お菓子の香梅 様



★ くまもと障がい者芸術展【11月7日（火）～12日（日）熊本県立美術館本館】

今回は19名の方が出展され、11月9日（木）に、いきいきグループ・きらめきグループに分かれて見学に行きました。

自分の作品を見つけると笑顔になり「来年も頑張ろう」「来年はこうしよう」等と他の作品も見て、更なる意欲が湧いたようです。当日は汗ばむくらいの陽気で、二の丸公園の木々も色づき始めており、来年はゆっくり時間をとって見学を兼ねて公園で季節を感じながらお弁当を食べるのも楽しいかなと皆で話しました。

絵や手芸だけでなく詩などもあり、私が最も心に残っている作品は「恋」という書です。60代男性が好きな人を想いながら書いたもので、コメントを読んで再び作品を見返すと、60代の恋とはどんなものかな…と想像が膨らみ、また違った書に見えてきます。おもしろいですね。皆さん、来年もぜひ足を運んで下さい（\*^^\*）（主任支援員 中尾）



★ いきいきグループ外出【11月8日（水）阿蘇ミルク牧場】

利用者さんの「動物と触れ合いたい」との要望で、ミルク牧場まで行ってきました。

11月の阿蘇ということで寒さを心配しましたが、天気に恵まれました。エサやり体験、ヤギのレース、芝生の上でゆっくり過ごすなど、利用者さんが希望された事が出来たのではないかと思います。レースでは、残念ながら誰も予想を当てる事は出来ませんでした。「5番頑張れー!!」とそれぞれの選んだヤギを大きな声で応援されていました。

レースの後は、もう一つの利用者さんのお楽しみである食事です。バイキングでは普段食べる機会が少ないメニューを味わいました。修学旅行生も来ていて、小学生からも元気を貰い、小学生に負けないようにいっぱい食べられました。日頃の疲れが癒されたかなと思います。今回のグループは第2段も予定していますのでワクワクしながら待って頂きたいと思います。（支援員 村上）





## 行事予定

### ☆いきいきグループ外出（清流荘）

期 日：12月6日（水）

内 容：温泉でゆっくり温まり、美味しい食事を味わう予定です。



### ☆クリスマス会（つくしの里）

期 日：12月21日（木）

内 容：職員だしもの、クリスマス特別メニューの食事、何より嬉しいプレゼントで楽しい1日を過ごします。



### ☆もちつき大会（つくしの里）

期 日：12月28日（木）

内 容：一年を締めくくるもちつき大会。令和5年を丸くおさめたいと思います。



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和五年十月二十一日～

令和五年十一月二十日です



#### 【寄付・寄贈】

- |          |         |
|----------|---------|
| ・岩根麻由美様  | ・梅井美亜樹様 |
| ・江頭勝 様   | ・後藤弘子様  |
| ・下田吾一 様  | ・高宗信雄 様 |
| ・田代千恵子様  | ・田上修二 様 |
| ・中尾精一 様  | ・中山香代子様 |
| ・中島秀子 様  | ・中野英二 様 |
| ・廣瀬悦美 様  | ・藤田孝志 様 |
| ・守田勝之 様  | ・山口静美 様 |
| ・まんしん未来様 |         |
| 【ボランティア】 |         |
| ・村里和洋 様  | ・トキロロ 様 |
| ・カモメ 様   |         |

誠にありがとうございました。  
利用者さんの為に使用させて頂きます。

## 編集後記

中庭には恒例の巨大サンタが登場し、クリスマスツリーも飾り付けられ、クリスマス会の準備が着々と進んでいます。師走は何かと気忙しくなります。インフルエンザも全国的に流行しているようですので、くれぐれもご自愛ください。



※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載・確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら、何卒ご容赦していただきたく存じます。

